



第76回卒業式 ～37名が古館ヶ丘から旅立つ～



3月3日、馬頭高校第76回卒業式が挙行政され、普通科29名、水産科8名が卒業証書を手にし、進学や就職へと新たな世界への第一歩を踏み出しました。卒業証書授与では、普通科の森島乃夢さん・水産科の渡邊圭人さんが各科を代表し、答辞では、卒業生を代表して江連杏菜さんが、強い絆で結ばれた同級生と充実した高校生活が送れたこと、生徒会長となって成長したこと、これからの社会を支えていく決意、そして家族をはじめ支えてくれた多くの方々への感謝を述べました。



職員を代表して校長は式辞の中で、「過ちは改むるに憚ること勿れ」・「山高きが故に貴からず」という言葉を述べ卒業の餞としました。また、前日の同窓会入会式後の表彰式では、澤村翔太さん、渡邊圭人さんが、優れた成績や実績を残した卒業生に贈られる振興会賞を受賞しました。



馬頭高校第七十六回生の皆さん、体験型探究活動をはじめ様々な学びを通して身に付けた「主体性・協働性・コミュニケーション力」は、皆さんの大きな「強み」です。自信を持って、力強く、自分らしく、新しい世界に羽ばたいてください。

《地域連携学習発表会》

3月17日、福島泰夫那珂川町長をはじめ、学校運営協議会委員の方々、「那珂川学」でご協力いただいた関係事業所、保護者の皆様をお招きし、今年度の地域連携活動発表会を開催しました。

「那珂川学」の取り組みは、1学年、2学年の各代表者が、普通科の選択科目からは「農業と環境」の活動について、水産科の課題研究からは、「巨石の有無が上中流域の内水面漁場に与える影響」と題した研究成果について発表がありました。

これらの活動は、地域の方々の有形無形のご協力と善意によって行うことができおり、本校



にとって貴重な学習活動となっています。

今回の発表会は代表者による発表でしたが、この他にも多くの場面でご支援をいただいております。誠にありがとうございます。

今後とも、よろしくお願いいたします。